

発明の名称：ダンパー体およびダンパー体の製造方法



【発明の概要】

【課題】安価でエネルギー吸収能力の高い木造住宅用制振ダンパー体を提供すること。

【解決手段】木造住宅構造物の骨組を構成する、平行する2本の柱と、その上下に平行する横架材と、からなる接合構造の制振に用いる筋交いのダンパー体であって、角形鋼管からなる弾塑性変形部を有するダンパー体である。

【応用分野・適用製品】

木造住宅用制振筋交いに用いるダンパー体

【産学連携会員企業の皆様へのアピールポイント！】

木造住宅用制振ダンパー体として実績のある「特許 4139901 木造建物の制振構造及び木造建物の制振方法（呼称 K型ブレース）」の低価格化を実現した。

【本発明の特許出願情報】

出願番号：特願 2016-161350

出願日：2016年8月19日

発明者：笠井 和彦 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 教授
松田 和浩 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 助教

出願人：国立大学法人東京工業大学

【開示の整理番号】 東 16_025 (15T225)

【お問い合わせ先】

国立大学法人東京工業大学 産学連携推進本部

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1

TEL：03-5734-2445 FAX：03-5734-2482

E-mail：sangaku-at-sangaku.titech.ac.jp アドレス内の[at]は@に置き換えてご送信ください。